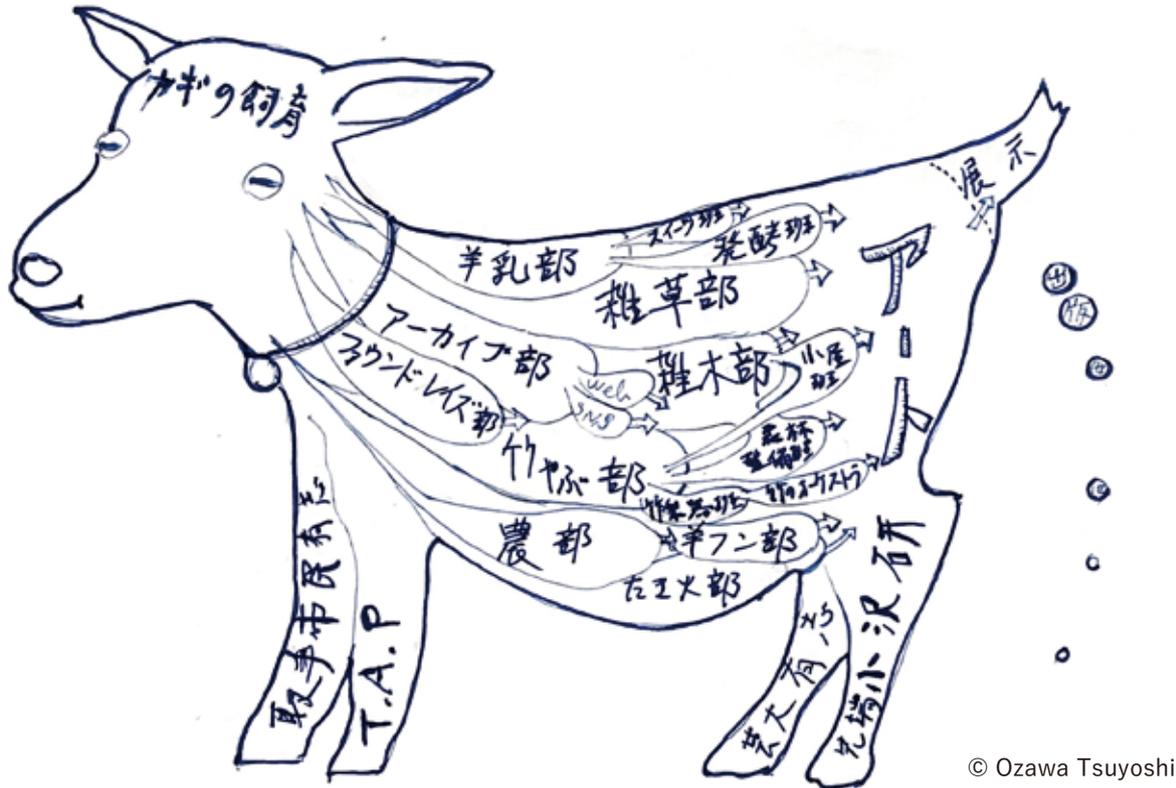


ヤギを中心とした  
屋根も壁もない  
透明なアートセンターは、  
常に定まらない、  
創造の源を育てている。



© Ozawa Tsuyoshi

## ヤギの目 発足のご案内

初の作品発表展示「ヤギの目はアートの素をひねり出す」  
開催のお知らせ (2021/9/19日 -10/5火)

\* プレスツアー 2021/9/19 (日) 13:30- 14:00 直接会場へ

なぜ芸術家が、立場の違う様々な人と一緒にヤギを育てはじめたのか。

ヤギからインスピレーションを得て多様な人々がみつける「アートの素」と、そこから生まれはじめた芸術作品を公開する初の作品展覧会 (@たいけん美じゅつ場・茨城県取手市) を行います。

【主催】ヤギの目 (東京藝術大学先端芸術表現科小沢剛研究室・藝大学生教員有志・地域住民有志・取手アートプロジェクト《半農半芸》)

【助成】公益財団法人 野村財団/東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2021

【お問い合わせ】●ヤギの目 Instagram([https://www.instagram.com/yagi\\_nome/](https://www.instagram.com/yagi_nome/)) ヘダイレクトメッセージ

●取手アートプロジェクト実施本部 Mail: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) Tel: 0297-84-1874(火・金 13:00-17:00 受付)



## ヤギの目 とは？

2020年12月6日、2頭のヤギ、ムギとエヒメが東京藝術大学取手キャンパスにやってきたことをきっかけにはじまった「ヤギの目」。様々なヒトや世代が集まり、多様な文化と分野の交わる場となる「透明なアーツセンター」をつくることを目指しています。

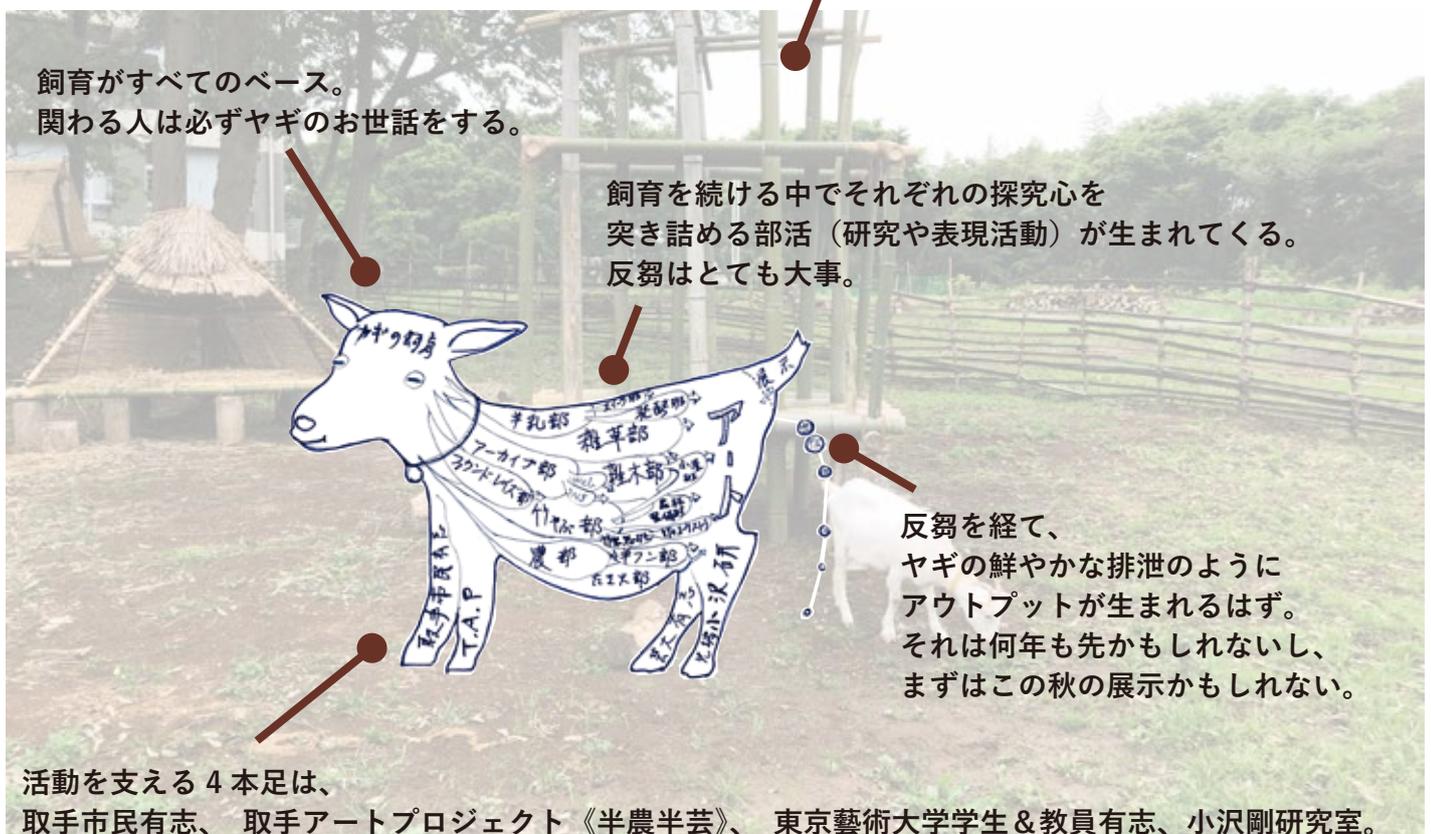
この屋根も壁もない「透明なアーツセンター」は、関わる人々の活動が重ねられることで形を変えていきます。芸術家たちは、ヤギとの暮らしを通して定まらない表現を発掘し、コロナ禍でも持続可能な研究・創作・表現活動の場をつくり続けることを試んでいます。そしてヤギをパートナーとして、次世代のコミュニティのあり方をも考察していく場にもなっています。

新型コロナウイルスの蔓延は、現在ヒトが直面している状況を露わにしました。

もしかしたら、人間ではない「他者」の視点を取り入れることで、災害後ではなく災間の連続ともいえる現在の社会を生きる方法、そしてこの時代にこそ生まれる芸術表現が可能なのではないか、とヤギの目は考えています。

## ヤギの目概念図

ヤギの生活環境は、取手校地の雑木や竹を切り出して素材とし制作。天候に翻弄されつつ、更新されていく。



## ヤギの目はアートの素をひねり出す 開催概要

【会期】2021年9月19日(日)～10月5日(火)

【時間】AM10:00～PM8:00

会期中無休・観覧無料・予約不要

【会場】たいけん美じゅつ場 VIVA

〒302-0014 茨城県取手市中央町 2-5 アトレ取手 4 階  
(JR 常磐線・関東鉄道常総線 取手駅西口直結徒歩 2 分)

【出品者】小沢剛 / moldfreeclub + 西原尚 / 倉科明尚 / 弓 / 酒井和泉 / 佐藤桃子 / タオリグサリナ / ちえんしげ / 水野渚 / PJJ (荒川弘憲、田中 john 直人、若山萌恵) / 上條信志 / 川原圭汰 ほかヤギの目に関わるメンバー

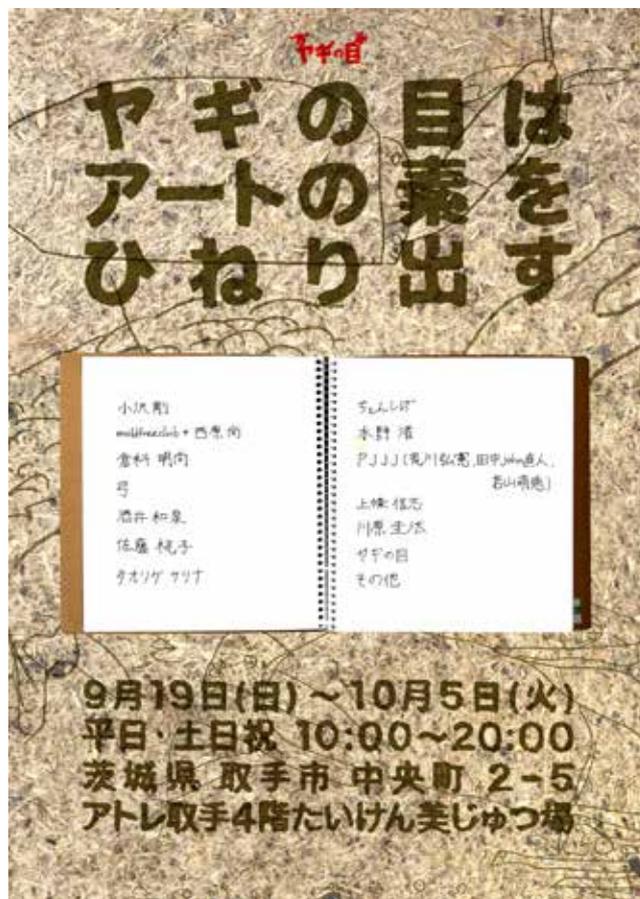
【出品内容】ヤギの目に所属して活動するアーティストによる作品と、ヤギの目で活動する様々な立場の人々(地域住民、アート NPO スタッフなど)のつけた「アートの素」を展示。

【主催】ヤギの目(東京藝術大学先端芸術表現科小沢剛研究室・藝大学生教員有志・地域住民有志・取手アートプロジェクト《半農半芸》)

【共催】アトレ取手・取手市

【助成】公益財団法人 野村財団 / 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2021

【企画制作】ヤギの目



\*新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてご来場の際は、ご体調チェックの上マスクをご着用いただきご来場ください。

\*本展は予約制ではありませんが、今後の状況により、変更、入場制限を実施する可能性がございます。

\*同時開催：「先端 PRIZE 展 2021」 会期：2021年9月24日(金)～10月5日(火)

茨城県取手市にキャンパスのある東京藝術大学先端芸術表現科・同大学院の学内賞受賞者による選抜展を同フロアのとりでアートギャラリーにて開催しております。併せてぜひご覧ください。

## プレスツアー

日時：2021年9月19日(日)13:30-14:00

事前申込不要・直接会場へお越しください

集合場所：たいけん美じゅつ場ラーニングルーム

全体統括の小沢剛とアーティストが会場にてお待ちしております。

展示会場をご案内しながら、「ヤギの目」活動や展示作品、プロジェクトに関するご質問をお受けします。



会場 URL

【お問い合わせ】●ヤギの目 Instagram([https://www.instagram.com/yagi\\_nome/](https://www.instagram.com/yagi_nome/))へダイレクトメッセージ

●取手アートプロジェクト実施本部 Mail: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) Tel: 0297-84-1874(火・金 13:00-17:00 受付)



## プロジェクトウェブサイト

2021年7月20日に公開されたヤギの目ウェブサイトではプロジェクトの情報を発信していくとともに、取手校地で暮らすヤギ2頭の生活の様子と飼育に携わるヤギの目メンバーの活動を見られるライブカメラも配信しています。

<https://yaginome.geidai.ac.jp/>

デザイン：大岡寛典      ディレクション：小沢剛



展覧会「ヤギの目はアートの素をひねり出す」の最新情報も、上記WEBをご確認ください。  
イベントやトークなど会期中の情報を更新していきます。

## ヤギの目 チーム構成

### 主催

ヤギの目（東京藝術大学先端芸術表現科小沢剛研究室・藝大学生教員有志・地域住民有志・取手アートプロジェクト《半農半芸》）

助言・飼育指導サポート      安江健（茨城大学農学部食生命科学科教授・家畜行動学）

助成      公益財団法人 野村財団／東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2021

### プロジェクト責任者 小沢 剛

美術家。1965年東京生まれ、埼玉在住。東京藝術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める《地蔵建立》開始。93年から牛乳箱を用いた超小型移動式ギャラリー《なすび画廊》や《相談芸術》を開始。99年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした《醤油画資料館》を制作。2001年より女性が野菜で出来た武器を持つポートレート写真のシリーズ《ベジタブル・ウェポン》を制作。2004年に個展「同時に答えるYesとNo!」（森美術館）、09年に個展「透明ランナーは走りつづける」（広島市現代美術館）、18年に個展「不完全ーパラレルな美術史」（千葉市美術館）を開催。13年には「光のない。（プロローグ?）」（作：エルフリーデ・イエリネク）において、初めて舞台演出、美術を手がける。13年より、歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ね合わせ、物語を構築する「帰って来た」シリーズを制作。第69回芸術選奨文部科学大臣賞受賞（2019年）。

URL = <https://www.ozawatsuyoshi.net/>

### 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクトについて

「I LOVE YOU」プロジェクトは、東京藝術大学が、芸術が持つ無限の可能性を社会に向けて伝え、実践によって示すために開始した、学術的なプロジェクトです。科学・医学・福祉等のあらゆる分野と繋がり、新たな価値を見出し、社会を豊かに変えていくことができる 芸術の力を、学内公募によって採択された多種多様な企画によって、発信していきます。2020年には、50以上ものインスタレーションやコンサート、ワークショップなどを行い、その記録をアーカイブで紹介しています。

URL = <https://iloveyou.geidai.ac.jp/>

芸術は人を愛する



### 取手アートプロジェクト《半農半芸》について

取手アートプロジェクト（TAP=Toride Art Project）は、1999年より市民と取手市、東京藝術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。通年型で取り組む郊外ならではのアートプロジェクトとして《半農半芸》が「10年かけて旅する」を掲げ2011年にスタート、自然の要素を表現の軸に据えたアーティストや地域の方々、専門家たちとともに生きることをめぐる新しい価値を創る試みに取り組んでいます。ディレクター：岩間賢（美術家）

URL = <https://toride-ap.gr.jp/>

